機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170099	3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止		異動・発行・照会抑止	住民記録システムに登録された支援措置対象者に対する抑止設定を参照し、異動入力・通知書発行、照会などの処理ごとに抑止（エラー、またはアラート）が表示されること。 ※エラー：論理的に成立し得ない入力その他の抑止すべき入力等について、抑止すべき原因が解消されるまで、当該入力等を確定できないもの。 ※アラート：論理的には成立するが特に注意を要する入力等について、注意喚起の表示を経た上で、当該入力等を確定できるもの。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170100	3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止		異動・発行・照会抑止	各抑止機能について、異動入力、通知書発行、照会などの処理ごとに、個人及び世帯単位で、抑止（エラーとして処理不可、アラート表示を行うが処理可又は特段の制御を行わず処理可）の開始日及び終了日設定が可能であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170101	3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止		異動・発行・照会抑止	抑止が終了していない者について、抑止の一時解除ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170102	3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止		異動・発行・照会抑止	一時解除後、一定時間経過後に自動で抑止状態に戻ること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170103	3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止		異動・発行・照会抑止	抑止状態に戻るまでの時間を設定できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170104	3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止		異動・発行・照会抑止	抑止・解除、又は一時解除できる権限は個別に設定できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170105	3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止		異動・発行・照会抑止	なお、抑止の終了日を経過しても、抑止は自動的に終了しないこと。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170106	3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止		異動・発行・照会抑止	検索結果の表示の際、抑止対象であることが明らかとなること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170107	3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止		異動・発行・照会抑止	抑止については１名の者に対して複数設定することができ、設定ごとに、抑止する処理・抑止レベル（エラー・アラート）の設定ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170108	4 学齢簿管理	4.1 新規就学者登録	4.1.1 新就学者一括登録	新就学者一括登録	新規就学者の学齢簿への記載の処理が行えること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170109	4 学齢簿管理	4.1 新規就学者登録	4.1.1 新就学者一括登録	新就学者一括登録	また、住民記録情報（日本国籍を有する者の住民データ・外国籍を有する者の住民データ）から記載事項を自動的に反映し、学齢簿に一括登録ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日